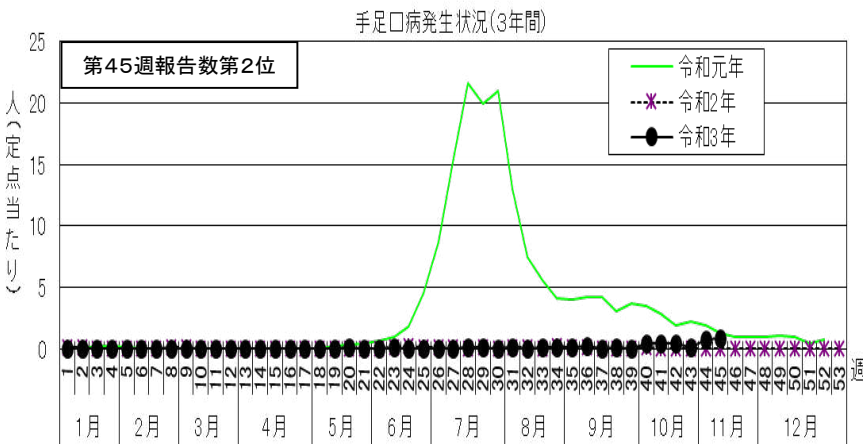
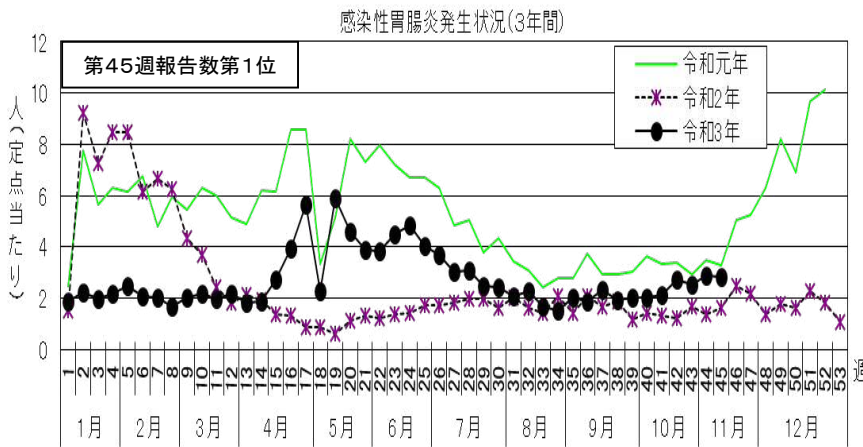


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年11月8日（月）～令和3年11月14日（日）〔令和3年第45週〕の感染症発生状況

第45週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 手足口病 3) ヘルパンギーナでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.81人と前週（2.89人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 手足口病の定点当たり患者報告数は0.92人と前週（0.76人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は0.68人と前週（0.57人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎にも御注意を！！

川崎市における感染性胃腸炎の報告数は、新型コロナウイルス感染症流行の影響で、令和2年は激減しましたが、令和3年は4月以降少しずつ増加し、例年並みに戻りつつあります。また、例年夏季に流行し食中毒の原因となる腸管出血性大腸菌感染症は、令和2年は報告数の減少はみられず、令和3年は5月下旬以降報告数が急増し、夏以降も報告が続いています。

これから冬にかけては、例年ノロウイルス感染症の流行も多くみられます。消毒用アルコールが効きにくい病原体もありますので、感染性胃腸炎など経口感染する感染症に対しては、こまめな手洗いを徹底しましょう。

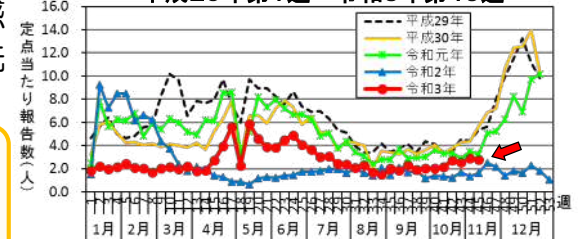
ノロウイルス感染予防のポイント

ノロウイルスには、エタノールや逆性石けんなどの消毒薬はあまり効果がありません。次のような方法で防ぎましょう。

- ✓ 二枚貝や肉などは中心部まで十分加熱する。(85℃～90℃で90秒以上)
- ✓ 調理器具は使用后、洗って熱湯消毒する。
- ✓ 嘔吐物や便は、次亜塩素酸ナトリウムを利用し、適切に処理する。

経口感染対策の基本は手洗いです。食事や調理の前、トイレの後などは、必ず手を洗いましょう！

川崎市における感染性胃腸炎発生状況
 -平成29年第1週～令和3年第45週-



川崎市における腸管出血性大腸菌感染症累積報告数
 -平成29年第1週～令和3年第45週-

